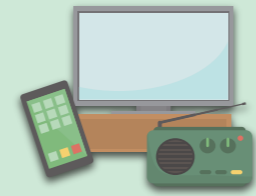


# ガイドブックのポイント

## 避難情報を知ろう!

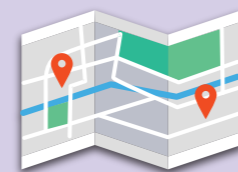
災害発生のおそれがあるときに発令される避難情報や、とるべき行動を知ろう!!



P6

## ハザードマップを確認しよう!

土砂災害や洪水など、自宅の周りの災害リスクを確認しよう!!



P27~28  
ハザード  
マップ

## マイ避難所を決めておこう!

どのような避難方法があるのかを知って、分散避難について考えよう!!



P31

## マイ・タイムラインを作ってみよう!

あらかじめ自分自身の防災行動を考えて、災害に備えよう!!



P33~  
P36

## 非常時持ち出し品を準備しよう!

災害に備えて、感染症対策や家庭の状況に応じた持ち出し品を準備しよう!!



P39~  
P40

# 避難情報の確認

## 警戒レベル4

## 避難指示で必ず避難しましょう!

警戒レベル	避難情報等	状況	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保*	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!
~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~			
4	避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難
2	大雨・洪水・高潮 注意報(気象庁が発表)	気象状況悪化	自らの避難行動を確認
1	早期注意情報 (気象庁が発表)	今後の気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める

\* 災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

## 3つの避難情報

災害の危険が迫って避難が必要になった場合に、避難に関する3種類の情報が状況の深刻度に応じて発令されます。各情報に応じた避難行動をとりましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3「高齢者等避難」で危険な場所から避難しましょう。

人的被害の発生する危険性が明らかに高まった状況です。警戒レベル4「避難指示」で、危険な場所から全員避難しましょう。

警戒レベル5「緊急安全確保」は、すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。

## 4つの避難行動

避難所に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けることです。避難行動には次の4つの行動があります。

在宅避難(自宅に留まる)

安全な場所にある  
親戚・知人宅へ避難

市の避難所へ避難

安全な場所にある  
ホテル・旅館へ避難

\* 詳しくはP31を参照してください。